

# 湊川相野学園 ニュース

発行：2022年5月

# No.90

ひとを育て、ともに歩んで100周年



## 湊川短期大学「大前 衛氏『瑞宝小綬章』受章」

令和4年春の叙勲に於いて、湊川相野学園理事・湊川短期大学名誉教授の大前先生が「瑞宝小綬章」を受章されました。瑞宝章は、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、重要と認められる職務をはたし功績のあった人に対して授与する勲章です。

大前先生は1966年から高校・短大と湊川相野学園一筋に56年間奉職され、短大学長を経て現在短期大学内の各種センター長等を務めておられます。この間、篠山市教育委員長など数多くの公職を歴任され、現在も主に三田・篠山両市で教育や地域活動に尽力されております。また、三田のハニーFMで毎週放送されている「家族えとせとら」などの番組で、先生のことをご存じの方も多いのではないでしょうか。



※学園ニュースとして先生に受章の感想をお聞きしました。

### 【この名誉に対してのご感想は？】

私が当学園に長年お世話になれたのは、よき師・よき上司・よき同僚に恵まれたことです。前々理事長であった古林美代子先生に採用され、前理事長の古林尚夫先生に育てていただき、多くの上司や仲間を支えてもらい今日を迎えました。まずこの事に心より感謝します。

そして、これからは浅井祐子現理事長に少しでも恩返しができればと思っています。

### 【教壇に立ってこられて楽しかったことは？】

楽しかったことはあまりありませんでしたが、充実した悔いのない教員生活でした。

全国に多くの卒業生が居て、今でも様々な連絡をくれたり、訪ねてきてくれたりする事は大きな喜びであり、卒業生は、私のかげがえのない大切な財産なのです。

和をもって尊しとする信念のもと、湊川相野学園はもとより、地域の教育現場にいつまでも立ち続ける大きな柱であってほしいと願いながら、この喜びを共に祝いたいと思います。大前 衛先生。おめでとうございます！

## 三田松聖高等学校「高大連携プログラム〈保育探究クラス〉2年生 順調です！」



幼児教育に興味ある生徒が短期大学の授業を先取りし、どんどん探究を深めることができる〈保育探究クラス〉。1年次で「保育入門」を無事修了した21名(男子2名、女子19名)が、4月から「音楽基礎」を受講しています。

授業では 前川尚子先生から楽譜の読み方やピアノの弾き方について学び、ピアノ実習では3人の先生方から個別レッスンを受け上達を目指しています。また、第1回目の「保育技術検定講座」では、家庭看護4級合格に向けて、「乳児の世話(抱っこの仕方、検温)」について静和美先生にご指導いただき、生徒達は赤ちゃん人形を実際の赤ちゃんに見立てて、目線を合わせやさしく声をかけながら、抱っこ(生後2ヶ月)や検温(生後6ヶ月)を演習しました。人形を触ると一気に緊張が解け和やかなムードの中、合格への意欲を高めました。



## 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園「さくらんぼ狩り」



園庭のさくらんぼが真っ赤に実りました。鳥に先をこされないように、と急いでさくらんぼ狩りをしました。

「なんか、ぶどうの実に似てるね」や、「甘酸っぱい味がするね」など、収穫して洗ったさくらんぼを食べながら、それぞれが感じたことをつぶやいていました。

園生活ではこういった自然体験を通し、実際に見て、触れて、感じたことを大切にしています。自分の気持ち、友だちの気持ちの両方を大切にできるように、そして保育者はひとり一人の心に寄り添いながら毎日過ごしています。秋の柿が実るのが待ち遠しい今日この頃です。

